

## 第2回「明治維新はなぜ『成功』したのか」ボーディングパス

<導入：近代化の「成功」モデルとされる明治維新とはなにか>

近代国家として成長を遂げ、極東と呼ばれる地域にありながら世界にその存在を認知されようになった日本。その出発点は江戸から明治への転換点となった明治維新であると考えられている。この改革、もしくは革命は世界的にも希有な成功例と考えられ、発展途上国にとってまず参照すべき成功のモデルとして捉えられている。

では、それはいったいどのようなものなのだろうか。同時代のひとびとは、なにを問題として捉え、どう解決していこうとしたのだろうか。

<今日の材料：五箇条の御誓文（1868年3月14日）>

下記に挙げるのは、明治新政府の所信表明ともいえる五箇条の御誓文である。この宣言は、のちに制定される明治憲法よりもはるかに重要な近代日本の背骨であった。それは、太平洋戦争後、アメリカを中心とする占領軍から民主化を求められた際に、日本には日本型の民主主義があったと述べる際の根拠にこの御誓文が挙げられたことから知ることができる。

一、廣ク會議ヲ興シ萬機公論ニ決スヘシ

（開かれた議会を設け、重要なことは全て公の場の議論で決めるべき。）

一、上下心ヲ一ニシテ盛ニ經綸ヲ行フヘシ

（身分に関わらず心を一にし、積極的に国を豊かにする方法を実施すべき。）

一、官武一途庶民ニ至ル迄各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦マサラシメン事ヲ要ス

（全ての人がそれぞれの夢を実現し、希望をもって生きられる社会にすべき。）

一、舊來ノ陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クヘシ

（古いだけの習慣はやめ、より普遍的な摂理に基づいて行動すべき。）

一、智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ

（世界中の知識を取り入れて、国家の基礎を充実させていくべき。）

<今日のお題：考えてきてください。>

- ・何が問題とされていたのか。それはなぜか。どう変えようとしていたのか。
- ・明治維新 (Meiji Restoration) は改革 (Devolution) なのだろうか、革命 (Revolution) なのだろうか。フランス革命や名誉革命、ロシア革命、辛亥革命と比較するとどう見えてくるだろうか。